

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 31日

事業所名 ハビネス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4				
	2	職員の配置数は適切である	4			職員の男女比含めて適切な職員配置になっています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			床マットを敷き、段差を無くしてバリアフリー化しています。	必要に応じて手すり等の設置を検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			ミーティングを日々行い、児童の支援内容に関して話し合いや振り返りを行っています。	日々の児童支援等について報告・連絡・相談を徹底して行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			保護者様からの頂いた貴重なご意見を基に職員ミーティングで全体へ周知し、業務改善を図っています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			自己評価及び保護者評価を基に職員ミーティングで共有・周知を行っています。また、ホームページでも公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		第三者による見解を基に業務改善へ繋げています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			社内研修等、年に4~5回ほど行っています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			支援会議等で児童と保護者のニーズに即した計画書を作成しています。	
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		保護者から提出して頂いた事前情報等を用いています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			毎月の活動プログラムや季節に沿った活動を職員間で話し合っ立案し、活動を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			職員ミーティングを活用し、子どもたちの発達に応じて課題検討及び支援を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			支援計画に沿った活動を状況に応じて適宜行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			毎朝職員ミーティングを行い、支援内容等の確認を行っています。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4				送迎終了後、当日の支援等について話し合いや振り返りを行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				日々の支援に関して職員間で記録や話し合いを常に行い、今後の支援への検証・改善を図っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4					
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4					
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4					
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4				学校説明会に参加したり、学校メールに登録し、情報を収集しています。また、担任の先生と連絡帳や電話を通して適切に行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を築いている						医療的ケアが必要な児童は在籍していません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4				相談員を中心に就学前の担当者会議を行い、情報共有、相互理解を図っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1				未就学から小学校低学年を対象としているため、該当する児童はいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2			専門の講師を招いて研修や勉強会で助言を頂いています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2				交流の機会を設定していないため、今後検討して進めていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1				今年度初めて参加。今後も積極的に参加出来るよう努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				連絡帳や自宅送迎時の申し送り、LINE等を活用しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1			児童に合わせた対応を行うとともに保護者からの相談への助言を行っています。	当事業所ではペアレント・トレーニングを実施していないため、今後は自治体や地域団体、専門機関から得た情報を保護者へ案内するとともに、職員研修も検討していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				契約時など、保護者と一緒に読み合わせしながら詳細を説明し、同意を頂いています。	

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			連絡帳や自宅送迎時の際などを活用して保護者から聞き取りを、必要に応じて助言を行ったり、職員間で情報共有し支援に繋がっています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2		2	前年度、専門の講師を招いて勉強会と保護者会を同時に行いました。	今後、保護者会を定期的で開催し、保護者間の連携を図れるよう計画を進めていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			子どもや保護者からの意見に関して職員間で情報共有・周知を図り、迅速な対応を行っています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			毎月配布したり、ブログにて発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	4			職員間で意識して取り組み、個人ファイル等に関しては鍵付きのロッカーで厳重に保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	3		地域との交流の機会を増やしていけるよう今後の活動を検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1		・対応マニュアルを作成し、発生時の職員個々の担当や役割等について周知・徹底しています ・年に2〜3回災害訓練を実施し、訓練後の話し合いの中で改善点が出た際にはマニュアルの見直しや変更を加えています。 ・虐待防止委員会を会社内で発足し定期的に会議を持ち、職員研修や報告会で全職員へ周知・徹底を図っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4				相談員や保護者へ十分な説明と了解を得て計画書に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		保護者から提出して頂いた事前情報を職員間で周知しています。また、おやつ提供の際や調理を行うイベント等の際には、食品の原材料等を確認しながら対応を行っています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1			事例が起きた際にはすぐに職員間で情報共有し、報告書の作成、ファイリングを行っています。	